

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	経度
第1菜畑橋 (フリガナ)ダイイチナバタケバン	川端線	土佐清水市清水窪津～土佐清水市清水窪津		32° 47' 08.56"	132° 59' 47.82"
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
土佐清水市	2016.11.28	河川	-	一般道	その他
					その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)							点検者	株式会社ワタリコンサルタント	点検責任者	浜田大輔
点検時に記録							措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日			
上部構造	主桁	Ⅳ	腐食、亀裂	主桁 01、02 写真1～6						
	横桁	Ⅰ								
	床版	Ⅰ								
下部構造		Ⅰ								
支承部		Ⅱ	その他	支承 202 写真7						
その他		Ⅰ								

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)			措置後に記録
(判定区分)	(所見等)	主桁端部に欠損、亀裂を伴う腐食が見られる。歩道橋のため耐荷 力の影響は小さいが、塩害の影響もあるため緊急に措置する必要がある。	(再判定区分)
Ⅳ			(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1973年	9m	2.0m



起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅳ】	
写真 1 	写真 2 
断面欠損を伴う腐食01(局部的な亀裂有) 上部構造(主桁)【判定区分: Ⅳ】	
写真 3 	写真 4 
断面減少を伴う腐食01	
断面減少を伴う層状腐食01	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載○
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅳ】	
写真 5	写真 6
	
接合部の腐食及び亀裂02 支承部【判定区分: Ⅱ】	断面欠損を伴う腐食02(局部的な亀裂有) 【判定区分: Ⅳ】
写真 7	
	
支承受付ボルトの層状腐食(全部材同損傷)	